

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 山下 秋則 (一括質問) 質問予定日 2月28日 午前10時～	財政	「財政健全化プラン」と予算編成について	「財政健全化プラン」では、財政健全化に向け、「公共施設のあり方」「補助金等」「市独自事業」などの見直しに取り組むとし、6年度当初予算は、この見直しに基づく市民生活に直接、大きな影響を及ぼす予算編成となった。これに関し、以下の点について問う。	市長 担当部長
			① 市民の理解を求めるには、厳しい財政状況と見直しの必要性、「公共施設のあり方」「補助金等」「市独自事業」など見直し項目の全体像と取り組みの年次計画、さらには、見直しする個別の事項について、見直しの理由や先行して実施する理由など十分な説明が必要と考えるがどうか。 また、「広報なんたん」(12・1月号)で、「財政健全化プラン」について特集されたが、これで、財政健全化に向けての考え方や取り組みなどについて、市民に対する説明が十分と考えるのか。	
	防災	避難所における災害応急対応について	能登半島地震では、避難所や避難の在り方、長期化する断水、道路網の寸断など、さまざまな問題や課題が浮き彫りとなった。それらから学び、本市の災害応急対応に生かしていくことが重要と考える。そこで、以下の点について問う。	市長 担当部長
			① 今回の地震は、正月に、しかも観光地で起きたことで、住民だけでなく帰省客や観光客も被災し、多くの人が避難所に身を寄せられたことで、多くの避難所で、被災直後から数日の間、物資不足に悩まされたとのことである。 本市の防災備蓄品の備蓄数量は、能登半島地震のように、住民以外に多くの滞在者が居る場合でも対応できるのか。 ② 以前、数人の同僚議員から、「液体ミルク」の備蓄について一般質問があり、市長は「保存期間の問題もあるが、検討する」との答弁であった。その後の検討状況はどうか。質問時と比べ、長期保存の効く製品も出ている。備蓄品に加える必要があると考えるが。 ③ 断水が発生し、長期化していることもあり、避難所におけるトイレの問題が特にクローズアップされた。外部からの支援物資が届くまでの発災直後から数日の間のトイレの在り方や物資の確保などが課題となった。これに関し、以下の点について問う。 1. 本市の携帯トイレ、簡易トイレの備蓄の現状 2. 避難者数の想定に見合う量の確保ができていくのか。 3. 府南部で設置が進む「マンホールトイレ」や、亀岡市が導入されている「トイレトレーラー」の設置・導入の考えはないか。また、現在、より衛生的で便利な仮設トイレなどが開発・販売されている。これらについても導入の検討をしていくことが重要と考えるが。	
児童健全育成事業	放課後児童クラブの施設整備について	園部第二小学校の放課後児童クラブ「園部こすもす」の施設環境の改善については、これまで何度も一般質問し、さらに、昨年6月には、会派として、市長・教育長に対し、「施設環境整備の方針を今年度内に明確に示すこと」を求めて要望したところである。年度末を控え、その後の検討結果、方針について問う。	市教 育長	
公共交通	JR西日本胡麻・園部～亀岡間の列車運行本数の回復について	昨年のダイヤ改正による殿田中学校の生徒の下校時刻への影響に対しては、この3月のダイヤ改正で、一応、改善されるとのことであるが、これは、削減された列車の運行の回復ではない。 報道によるとJR西日本の収益は、大きく改善されてきているとのことであるが、この3月のダイヤ改正では、胡麻・園部～亀岡間の削減された列車の運行本数の回復はないとのことであるが、回復に向け、市として今後どのように取り組むのか。 また、報道によると、亀岡市では、市長が、昨年12月議会で「JR西日本の株を買って『物言う株主』になることも考えていく必要があるのではないか」との考えを示されたとのことであるが、本市はどのような考えなのか。	市長 担当部長	
新誠会 西村 好高 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午前11時10分～	財政	財政運営について	① 令和6年度一般会計予算は約237億円と大型の予算編成であるが、昨年に発表された「南丹市財政健全化プラン」に基づき、「基金に依存する赤字体質からの脱却」を実現するために既存事業の大幅見直しや新たな歳入の確保など、市政集中改革の初年度として「大ナタ」を振るった予算編成となった。市民の皆様や職員に負担を強いる予算であるが、各種見直しにおける優先順位はどのようにされたか伺う。また、市民の皆様への周知についても伺う。	市長 担当部長
			② 「南丹市財政健全化プラン」は令和6年度から令和9年度までの4年で累計26.7億円の収支改善を図る計画であるが、他会計への繰入金も大きな予算を占める中で、使用料や手数料の見直しも必要が迫られている。本市の財政計画について今後の見通しを伺う。	
	③ 令和6年度予算は財政危機の状況下にある認識の中で、大変厳しい予算編成となっている。しかしながら、市民の皆様や職員が希望と明るい未来を見出せるように施策を進める必要がある。令和6年度予算の中で、市長が掲げるまちづくりの方針である「南丹市をもっと元気に！地域の個性(特徴)を生かし希望あるまちづくり」を目指すための中心的な施策について伺う。 ④ 思想家で経営の神様と称される「松下幸之助」は「国家に国是、会社に社是」との言葉を残されている。これは国家なり、会社なりを運営していくには基本となる目標や方針を明確にしなければならないことを表現している。本市においても厳しい状況の中で、思想を超えて市民共通の目標、基盤となりうる「南丹市是」を策定して、市民の皆様や職員など南丹市の全ての力を結集し、活動の結果を能率よく生かし、真の繁栄と幸福を生み出していくべきと考えるが所見を伺う。			
公共交通	ライドシェアについて	① 政府は第3回デジタル行財政改革会議において、第二種運転免許を持たない一般ドライバーが有償で顧客を送迎するライドシェアを本年4月から条件付きで解禁する方針を明らかにした。当面はタクシー会社が事業の一環として地域の自家用車とドライバーを活用して行うこととしているが今後、大きく規制緩和が進む可能性がある。広大な面積を有する本市の公共交通においては画期的な手段になる可能性がある中で、ライドシェアについて市長の所見を伺う。 ② 本年4月から始まるライドシェアは道路運送法第78条第3号によるものであるが、同法同条第2号による自治体が主体の通称「自治体ライドシェア」も今春から実装の予定があり、自家用有償旅客制度の改革が大きく進みつつある。これらの先進的な動きは、地方創生や規制改革に率先して取り組む首長が組織する「活力ある地方を創る首長の会」が国土交通省への提言や連携により、スピード感を持ってなされている。西村市長も当組織に入会され、情報収集や制度改正の意見を述べてはと考えるが所見を伺う。	市長 担当部長	
地域振興	小学校跡地利活用の今後について	① 1月下旬に小学校跡施設利活用についての説明会があったが、園部、八木、日吉の5施設の地域振興会が共同で現状の指定管理料で引き続き受託したい旨の要望書に応える内容でなかったと聞いている。説明された内容について伺う。 ② 先の一般質問で市長は、地域振興会の皆様による小学校跡施設利活用は地域振興の「最後の砦である」と答弁された。最後の砦を無くさないためには、現状の指定管理料で引き続き地域振興会の皆様のご協力が必要になると思料するが所見を伺う。		

<p>活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後1時05～</p>	<p>防災</p>	<p>地震に対する備えについて</p>	<p>本年1月に能登地方で大きな地震が発生し、今も復興できない状況である。ある報道機関では、30年以内に南海トラフ地震の発生率が90%という報道もあるが、本市の備え等について以下の内容を伺う。</p>	<p>市 長 担 当 部 長</p>
			<p>① 南海トラフ地震が発生した時の本市の被害想定は。</p>	
			<p>② 大規模地震発生時の命を守る最低限のインフラ(ライフライン)対応について。</p>	
	<p>③ 避難施設の避難時の備え及び耐震状況、今後の対応について。</p>			
	<p>財政・地域振興</p>	<p>ふるさと納税について</p>	<p>財政健全化に向けた取り組みは、歳出の削減と歳入の増加への取り組みを一体として考える必要がある。その一つとして、ふるさと納税の取り組みの更なる活性化が本市の財政健全化及び市民のサービス向上につながると思う。</p>	
			<p>① 本年度のふるさと納税の現状は。</p>	
			<p>② 行政サービスのスリム化等で、市民の痛みを少しでも軽減するには、歳入増加の方策が必要と考える。その一つでもある、ふるさと納税の思い切った人的投資等、新たな方策・施策が必要と考えるが、本市の見解を伺う。</p>	
	<p>防犯</p>	<p>防犯カメラの設置について</p>	<p>通学時の子供の見守りは防犯協会・保護者等の地域の方々により、見守り活動をされているが、子供が犯罪に巻き込まれる事故が未だ全国的にある。また、近年、急速に高齢化が進展する中、高齢者等の徘徊等が増加傾向にあると思われる。対策として防犯カメラによる見守りが有効と考え、以下の質問を行う。</p>	
			<p>① 本市の防犯カメラの設置状況は。</p>	
<p>② 計画的な防犯カメラ設置を行う考えについて伺う。</p>				
<p>公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後2時15分～</p>	<p>行財政</p>	<p>当初予算案について</p>	<p>2月14日の新聞報道によると「大幅歳出削減に踏み込む」との大きな見出しと共に補助金カット・施設再編、また市長は「聖域なして抑える」と南丹市24年度当初予算案について掲載された。主な内容は、公共施設の廃止、休止、各種補助金等の見直し、市独自事業の見直し、人件費の削減等が提示されている。中でも、人件費の削減が大きなウエイトを占めているが、この点について市長の所見を伺う。</p>	<p>市 長</p>
	<p>教育</p>	<p>美山地域における今後の教育のあり方について</p>	<p>少子高齢化が進む中、教育環境も大きく変わってきていると考える。児童生徒数は減少の一途をたどっている。とりわけ美山地域は厳しいものがあると認識している。</p>	<p>教 育 長 担 当 部 長</p>
	<td> <p>① 今後の美山地域の生徒、児童数の推移状況を担当部長に伺う。</p> </td> <td> <p>② 美山小学校の施設は老朽化が進んでいるが、今後現施設を改修していくのか、また小中一貫教育の観点から新しい教育のあり方を考えているのかどうか。前教育長の時にこの件について質問したが、教育長の所見を伺う。</p> </td>	<p>① 今後の美山地域の生徒、児童数の推移状況を担当部長に伺う。</p>	<p>② 美山小学校の施設は老朽化が進んでいるが、今後現施設を改修していくのか、また小中一貫教育の観点から新しい教育のあり方を考えているのかどうか。前教育長の時にこの件について質問したが、教育長の所見を伺う。</p>	
<p>地域振興</p>	<p>地域活性化センターの今後のあり方について</p>	<p>2月6日の新聞報道によると南丹市旧小学校10施設管理団体に2年の「経過措置」と報道された。譲り受けか返還かの判断を2年期間を延長するが、補助金は半減にするとの事である。管理団体からの要望をふまえての措置と理解する。地域活性化センターへの思いは様々あり一朝一夕には判断できない面があるので、土地建物については市所有とするなど、何らかの市として解決策が提案出来ないのか市長に伺う。</p>	<p>市 長</p>	
<p>日本共産党議員団 河野 啓介 (一括質問) 質問予定日 2月28日 午後3時15分～</p>	<p>防災計画</p>	<p>防災計画</p>	<p>① 防災会議および防災計画について。防災計画の見直しはいつ、どのような視点のものになるのか。</p>	<p>市 長 担 当 部 長</p>
			<p>② 道路の寸断、集落および各戸の孤立への対応方針は。</p>	
			<p>③ 通信網について。防災無線、ケーブルテレビとインターネット、ラジオなど、情報の送受信はどのように担保されるのか。</p>	
	<p>防災</p>	<p>避難所</p>	<p>① 「避難所運営マニュアル」の活用について、存在自体が知られていないのではないか。設置場所を明記した広報が必要ではないか。</p>	<p>市 長 教 育 長 担 当 部 長</p>
			<p>② 避難所行政担当者の配置について、基本方針を伺う。</p>	
			<p>③ 収容避難所指定施設のうち今後、市の管理から離れるものもあるが整合性は取れるのか、見通しを伺う。</p>	
			<p>④ 「2次避難所」に関して本市の現状について伺う。</p>	
			<p>⑤ 避難所でのプライバシー、ジェンダーへの配慮について本市の方針について伺う。</p>	
			<p>⑥ 給食センターについて。リスク分散のためには、大型ではなく各学区ごとに設置するのが良いのではないかと。</p>	
<p>原発</p>	<p>大飯、高浜原発の30キロ圏内に本市のおおよそ3分の1以上が含まれる。原発の稼働停止、廃炉を求める。</p>	<p>市 長 担 当 部 長</p>		
<p>医療</p>	<p>重要災害拠点として位置づけし、抜本的な充実が必要と思うが市長の所見を伺う。</p>			
<p>新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後4時15分～</p>	<p>行政</p>	<p>行政組織の再編成と行政執行能力の向上について</p>	<p>① 組織改正が可決され、4月からスタートする状況ではあるが、更なる部署の統合などまだまだ検討が必要と考える。地域振興部の再編により部署も統合出来るのではないか。見解を伺う。</p>	<p>市 長</p>
			<p>② 執行能力の向上には職員の意欲喚起が重要であるとする。研修等も重要であるが、働く環境の充実も重視しなければならない。本市の福利厚生について伺う。</p>	<p>市 長 担 当 部 長</p>
			<p>③ 支所について、機構改革により見直しも実施されてきたが、今後の在り方について見解を伺う。</p>	<p>市 長</p>
	<p>新庁舎</p>	<p>新庁舎建設に係わる工事について</p>	<p>① 今現在における、1、2号庁舎の耐震等も含めた新庁舎建設工事に関わる全体の概算額を伺う。</p>	<p>市 長 担 当 部 長</p>
			<p>② 耐震補強工事の工程を変更されたが、庁舎内での移動や引っ越しに係わる経費について伺う。</p>	
			<p>③ 令和7年度、工事完了後の部署配置について、当初計画通りで課題等はないか。現状の予定を伺う。</p>	
	<p>防災</p>	<p>災害時における避難所及び防災基地について</p>	<p>① 本市では、条例で定められた防災広場が八木と日吉にそれぞれ設置されている。園部、美山の対応について見解を伺う。</p>	<p>市 長 担 当 部 長</p>
			<p>② 防災備蓄基地機能を併せ持った、西本梅地域での道の駅設置の可能性について伺う。</p>	<p>市 長</p>

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者	
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 2月29日 午前10時～	地域振興	地域活性化センターの今後について	① 昨年末、5つの組織から要望書が提出され、その後本市から、非公開の方針説明があった。本市の方針の内容を伺うとともに、本方針が要望書に対する回答との位置づけとして考えるべきものなのか伺う。 ② 旧大野小学校などは、民間企業が運営していくようだが、これは市に全て返還するの方針があったからと聞いている。市として営業活動をするためには、一旦全てを返還する必要があるのか。地域の組織と市とが協働で営業活動する方法はないのか伺う。 ③ 財政健全化プランや公共施設の再配置計画がある中で、地域活性化の拠点として、また人が集まる場所として、何らかの形で残すことはできないか伺う。 ④ 各地域によって事情が異なることから、一律の方針で解決策を探すのは難しいのではないかと考える。各地域組織ごとに個別具体的な話し合いが必要と考えるが、見解を伺う。	市長 担当部長	
	教育	日本人は相談が苦手ということについて	① 「困ったときは相談して」とよく言われるが、困りごとなどがあるときなどに子どもたちは家族や学校の先生などに相談できているのか見解を伺う。 ② 人に相談するということは、一種のスキルと捉えることができるのではないかと考える。子どもたちには「相談する」というスキルを学び、訓練する場が必要ではないかと考えるが見解を伺う。	教育長	
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 2月29日 午前11時～	保健医療・学校教育	献血の状況について	本市の献血の状況について伺う(献血者の人数を年度別に)。現在、献血は16歳から69歳を献血可能人口とされているが、少子高齢化により減少することが予想される。安定的に血液を確保するためには、若年層の献血者をいかに増やすかが喫緊の課題である。そこで、市民への啓発と併せて、献血可能年齢になる前に学校での教育が必要であると考えますが、市長・教育長の見解を伺う。	市長 教育長 担当部長	
	保健	児童生徒等の健康診断について	児童生徒等の健康診断を実施するに当たっては、文科省より脱衣を伴う検査における留意点が示されているが、本市の実施状況について伺う。	教育長	
	施設	学校施設の点検状況と老朽化対策について	昨年、老朽化した学校施設で外壁が落下する事故が相次いで発生している。外壁の落下防止等学校施設の老朽化対策・防災機能強化は早期に対処しなければならない重要な課題である。本市の学校施設の点検状況と老朽化対策について伺う。	教育長	
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 2月29日 午後1時～	防災	地震対策について	本年1月1日に発生した能登半島地震を教訓に本市の防災対策について、次の点を伺う。 ① インフラ施設、特に水道施設の被害が多く、断水により被災者の不便が課題となっているが、本市の水道施設の耐震化率と今後どのような対策を進められるのか伺う。 ② 木造住宅倒壊による圧死が多かったと聞く。建物倒壊を防ぐため、今後も住宅の耐震化を図ることが必要と考えるが、本市の木造住宅耐震化対策の現状と今後の対策を伺う。	市長 担当部長	
	行政	市政運営について	南丹市をもっと元気に！地域の個性を生かした希望あるまちづくりを目指し、5つの柱プラス1を2期目の方針として掲げ、市政運営を進められているが、次の点についてお伺いする。 ① 2期目の折り返しを迎え、5つの柱プラス1の重点項目の達成度を現時点でどのように捉えておられるか市長に伺う。 ② 財政健全化プランにより、今後、残された任期を全うされることとなるが、本市をもっと元気にするため市長として今後どのような方針で市政運営をされるのか市長の所見を伺う。 ③ 4月より子育て家庭センターを設置し、教育委員会に子育て施策が移管されることにより、妊産婦、子育て世帯(保護者)、子どもに対する支援をすることとなるが、教育長の所見を伺う。	教育長	
	新誠会 堤 博明 (一問一答) 質問予定日 2月29日 午後2時～	防災	能登半島地震への支援について	本市としての能登半島被災地への支援の対応や状況について伺う。	市長 担当部長
			地域防災計画の内容について	地震発生時に本市においても液状化被害も想定されているが、どの地域を想定されているか。	
耐震性について			建築年が昭和56年以前と昭和57年以降の住宅について、耐震性を把握されているか。		
自主防災組織について			自主防災組織の重要性について伺う。		
避難所について		① 災害時にペットを飼っていることで避難所に行けない方も多いと想定されるが、ペット同伴で避難できるよう検討されてはどうか。 ② 一時避難所及び収容避難所について、今後検討されていることがあるか伺う。			
総務	一次救命について	① AED設置状況は市内中心部に集中しており郊外では設置数が少ないと考えるが、見解を伺う。 ② AEDの民間導入の数は把握されているか。 ③ 公共及び民間のAED設置場所マップを作成されてはどうか。			
農業	電子帳簿保存法について	今年から施行される電子帳簿保存法について、農業者へ説明会を実施されてはどうか。			
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 2月29日 午後3時～	農畜産業	農業政策について	① 本市では4年度から5年度にわたり先進的な農業イベントを開催されている。その効果と、今後の見通し、問題点について考えを伺う。 ② 本市を訪れた方の購買意欲を高め、地域を活気づけるためにも市独自ブランドの策定やPRは重要であり必要だと考える。市としての考えを伺う。	市長 担当部長	
	観光・道路	道路整備について	観光入込客数を見ると、多くの方が本市を訪れていることがわかる。本市の実情を考えると、その多くが車を利用していると考えられ、本市内はもとより市外からの利用を考慮し、府や他市町村とも協力し交通網整備を進めていくべきと考える。今後のビジョンや考えについて市長、担当部長に伺う。		
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 2月29日 午後4時～	防災	避難所の開設について	① 避難所には臨時避難所、一時避難所、収容避難所があるが、市民の方への周知はどのようになされているか。 ② 収容避難者数の想定と受け入れスペースの確認は適切に行われているか。 ③ 大規模災害が発生した際の避難所運営の手引書「避難所運営マニュアル」が作成されているが、周知や啓発はどのように行われているか。 ④ 一時避難所は地域の方が開設運営しなければならないが、市としてはどのように関わっているか。避難所開設に向けては一定の訓練が必要であるが、地域力によって左右されることのないよう市としての支援が必要ではないか。	市長 担当部長	
	福祉	保育の確保について	① 6年度の保育所申し込みの状況と受け入れの見通しは。 ② 保育人材の不足が深刻とのことであるが、その状況と、人材確保に向けた見通し、確保のための対策は。 ③ 先ごろ、子どもがのびのび暮らせる、子育てにやさしいまちづくりのため、待機児童の解消と子育て環境の向上を目的に JR 園部駅への利便性が高い市有地に子ども園を設置する民間事業者が決定したが、今後の開設に向けての見通しは。		

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 3月1日 午前10時～	職場環境改善	南丹市役所の職場環境について	① 職員のパフォーマンス向上には魅力的な職場環境の整備が重要であるとする。南丹市役所における職場環境の現状について伺う。	市 長
			② 南丹市役所において職場環境を向上する手立ては講じられているか。	
	獣害対策 災害対策	獣害対策としての自伐型林業支援について 木造住宅耐震改修補助事業について	自伐型林業者が増加することにより獣害被害が減少したという事例がある。獣害対策と併せて他にも多くの効果が期待できる自伐型林業の支援制度を提案する。 能登半島地震の発生により市民の防災意識が高まる中、木造住宅耐震改修のニーズが高まることが予測される。民泊等の観光事業、移住促進等、経済的波及効果が期待できる補助事業の拡充を提案する。	市 長 担 当 部 長
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 3月1日 午前11時～	行政	行財政運営について	合併後、本市の行政運営は、限られた財政の中でも多くの公共施設や高い水準の市民サービスを維持してきた中、他市の人口類似団体に比べて予算規模が大きい状況である。原因分析と今後の行財政運営について市長に伺う。	市 長
		公共施設等管理計画について	中長期的な視点に立って財政健全化に向けた取り組みが進められる中、旧耐震基準の建物のうち、市の保有建物全体の約23.5%が未対応の状態である。財政を踏まえた今後の方針を伺う。	
	都市計画	八木駅周辺におけるまちづくりについて	南丹市の玄関口である八木駅周辺では、八木駅西土地区画整理組合のご尽力と本郷地区のご協力によって移住定住促進に向けた環境整備が整い、今後、さらに京都中部総合医療センターの移転や八木大藪環状交差点周辺にあるB&G跡地の住宅開発の活用、八木嶋準工業地域における新たな企業誘致に向けた用地整備と八木嶋中央線道路整備など、まちづくりの大きな転換期を迎えている。そのなか、京都中部総合医療センター移転に伴う跡地活用についても今後のまちづくりをしていく上で、重要な拠点となる事が考えられる。そうしたなかで、駅前周辺を含めた安全で安心な道路整備を含めた住民との会合が必要と考えるが、市長の見解を伺う。	